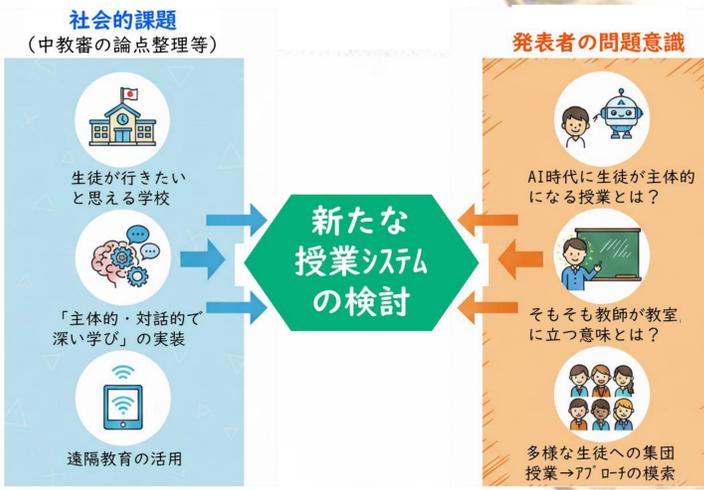


機械音声システムによる授業構築の研究 ～「愛される他者」との協働指導の可能性～

要旨

高校三年生の現代文範囲の授業において、機械音声システムとキャラクターを組み合わせた授業システムが、学習意欲向上にポジティブな影響を与えるかについて研究を行った。教師が前に立って指導してきた内容の一部を、画面に現れるキャラクターと機械音声による指示・解説に置き換え、教室に「第三者」を作り出すことで、多様な生徒の学習意欲向上を目指すと共に、今後AIと教員がどう役割分化していくかについて考察した。生徒は概ね好意的にこの授業システムを評価したが、内容の伝達という点で課題を感じたコメントも受け取った。今後教育への更なる活用が期待されているAIの運用に向けて、個別最適な支援の次へのステップの足跡となった。

1. 研究背景

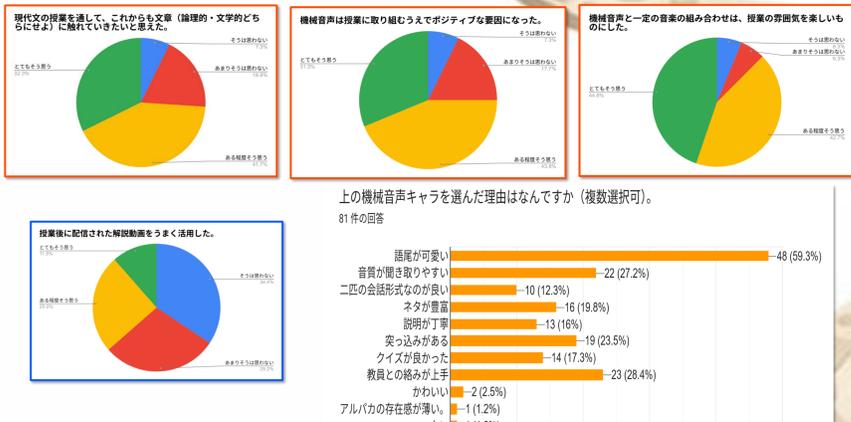


生徒からは7割程度のポジティブな評価を得ました。動画配信はあまり活用されなかったようです。

機械音声とキャラクターによる指示・解説・掛け合い・クイズといった様々な手法を、現代文範囲の全授業で実施しました。

実施者視点では、一定の成果は感じるものの「費用対効果」はかなり悪かったという印象です。

3. 結果・考察



今後は授業外で、このシステムが活用できないか検討していきます。ご興味を持たれた方はぜひ発表者までお声がけください！



2. 研究方法



- 授業準備の時間が3倍ぐらいに
準備段階で説明から小ネタまで全洗い出し
→機械音声化
- 生徒の理解度に差がある時や、補足等のイレギュラーに対する弱さ
- TTとしての役割はあまり果たせず
そもそも解説・指示中、生徒は話を聞いているので**机指指導不発**

4. 今後の展望



この研究についての説明動画(約7分)がございます。詳しくはこちらをご参照ください。



https://drive.google.com/file/d/1HVU9dWC3HAIk40TiaW8V_H0wSHRIRBo/view

参考文献

文部科学省, “高等学校教育の在り方ワーキンググループ 論点整理 概要”, 高等学校教育の在り方ワーキンググループ審議まとめ, 2025/09/25更新. https://www.mext.go.jp/content/20230710-mxt_koukou01-000030810_01.pdf, 2026/01/22閲覧.

文部科学省, “高等学校教育の在り方ワーキンググループ論点整理(概要)”, 高等学校教育の在り方ワーキンググループ論点整理等について, 2023/03/07更新. https://www.mext.go.jp/content/20230710-mxt_koukou01-000030810_01.pdf, 2026/01/22閲覧.

画像制作: Google Gemini (Nano Banana)